

輸送運営上の新型コロナウイルス対策の検討状況

組織委員会輸送局

2021年1月18日 東京圏連絡調整会議(第14回)

輸送運営上の新型コロナウイルス対策の基本的な考え方と検討状況

1 基本的な考え方

- アスリートをはじめとした大会関係者及び観客・大会スタッフに対して、移動時の感染リスクの最小化を図り、安全・安心な大会を支える輸送サービスを提供する。
- 組織委員会は、「東京オリンピック・パラリンピック競技大会における新型コロナウイルス感染症対策調整会議」での検討や業種別ガイドライン等を踏まえて対策を検討する。
- 対策の内容については、関係機関等と共有し、実施に向けて連携を図っていく。

2 輸送運営計画V2等との関係

- 輸送サービスの全体像を示す輸送運営計画V2に、輸送運営上のコロナ対策の基本的な考え方を示す。対策の内容については、その他輸送に関する各種オペレーション計画に反映していく。

3 検討している対策(案)の概要

移動時における共通の対策(例)：

- マスク着用や手指消毒、会話の抑制、フィジカル・ディスタンスの確保等の基本的な感染防止対策の徹底を図る。

大会関係者向けの対策(例)：

- アスリート等は公共交通機関を利用せず、専用車両での移動を原則とし、地方の競技会場等への移動など航空機や新幹線等の利用がやむを得ない場合に限定的に使用する。その際は、他の利用者との間に空席を設けるなど、座席配置形態に応じて一般客との間隔を確保する。

つづく

- アスリート等を輸送する車両及びドライバーは専用で運用し、他の大会関係者を輸送する車両及びドライバーを兼務しない。

観客向けの対策(例):

- 観客シャトルバス乗降場での対策としては、乗降場の広さや利用状況に応じてフィジカル・ディスタンス確保の協力を求める。また、マスク着用や会話抑制などのルールを周知する。

車両の対策(例):

- 組織委員会が提供するバス及びフリート車両の対策としては、エアコンによる常時車内換気、運転席への飛沫防止のパーティションの設置またはバス運転席の後部座席の使用禁止、適宜消毒などの措置を取る。

輸送に係るスタッフ向けの対策(例):

- デポなど輸送サービス関連サイトにおけるスタッフ向けの対策としては、フィジカル・ディスタンスの確保、マスク着用の徹底、手洗い・手指消毒の徹底、体調管理の徹底、業務・活動時間外の行動制約などの基本的な行動ルールを遵守する。

4 今後の予定

- ステークホルダーや、関係機関等と調整しながら、対策の具体化を図るとともに、テストイベント等の機会を通じて、オペレーションに反映していく。